

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成30年1月12日 8時55分～12時55分

出席委員：立花委員長・佐伯委員・入谷委員・後藤委員・柘植委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	初詣に伴う雑踏警備の実施結果	地域部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長
2	主要事件の検挙		
3	刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成29年中）	刑事部	生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長
4	報告 主要事件の発生		
5	交通事故発生状況（平成29年中）	交通部	交 通 部 長 警 備 部 長
6	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成29年12月中及び平成29年中）	警備部	名古屋市警察部長 情報通信部長
7	愛知県国民保護共同図上訓練への参加		

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（12件）	総務部	公安委員会執務官
2	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
3	決裁 苦情の調査結果		
4	報告 監察案件		首 席 監 察 官
5	決裁 行政訴訟の発生及び応訴		訟 務 官
6	裁決 運転免許取消処分に対する審査請求		
7	裁決 放置違反金納付命令に対する審査請求		
8	裁決 運転免許停止処分に対する審査請求		
9	裁決 運転者区分決定に対する審査請求		
10	決裁 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の一部改正（案）		生活安全部
11	報告 検視立会医に対する謝金の支出漏れ等に関する調査結果	刑事部	捜査第一課長
12	報告 交通事故発生状況と今後の対策	交通部	交 通 部 長
13	決定 聴聞等の実施結果・決定 64件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 地域部

ア 初詣に伴う雑踏警備の実施結果

地域部長から、初詣に伴う雑踏警備の実施結果について、
「熱田神宮等において雑踏警備を実施した結果、雑踏事故等の発生は
なく終了した」
旨の報告があった。

イ 主要事件の検挙

地域部長から、
窃盗（すり）未遂事件被疑者の検挙概要
ついて報告があった。

委員から、
「連携よく、いい事件を検挙してもらった」
旨の発言があった。

(2) 刑事部

ア 刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成29年中）

刑事部長から、平成29年中の刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（前
年との比較）について、
「 刑法犯の認知件数は65,511件で、4,743件減少した
刑法犯の検挙件数は20,610件で、1,506件減少した
刑法犯の検挙率は31.5パーセントで、前年と同じであった
刑法犯の検挙人員は14,005人で、500人減少した
重要窃盗犯の認知件数は8,301人で、732件減少した

重要窃盗犯の検挙件数は3,915件で、3件減少した
重要窃盗犯の検挙率は47.2パーセントで、3.8ポイント上昇した
重要窃盗犯の検挙人員は589人で、74人増加した」
旨の報告があった。

委員から、
「侵入盗のワースト返上に向け、各種対策を推進されたい」
旨の発言があった。

イ 主要事件の発生

刑事部長から、
「1月5日、東海警察署管内で殺人事件を認知し、同日、同署に捜査
本部を設置した」
旨の報告があった。

(3) 交通部

交通事故発生状況（平成29年中）

交通部長から、平成29年中の交通事故発生状況について、
「交通事故死者数は、平成29年中200人で前年に比べ12人減少した。
交通死亡事故の主な特徴としては、
高齢者の割合が高い
自転車が増加
夕方（午後4時から午後6時）が増加
名古屋が増加
車両単独が減少

である。

平成30年中の主な活動重点は、
歩行者保護を始めとした交通安全意識の更なる定着
交通事故に直結する違反の取締りの強化
高齢者、子ども等の交通弱者に配慮した道路交通環境の整備
である」

旨の報告があった。

委員から、

「昨年末はよく頑張ってもらったが、今年も1件でも事故を減らすよう努力願いたい」

旨の発言があった。

(4) 警備部

ア 行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成29年12月中及び平成29年中）

警備部長から、平成29年12月中及び平成29年中の行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可について、

「平成29年12月中、4件の許可申請を受理して、全て許可した。

また、平成29年1年間では、172件の許可申請があり、全て許可した。

なお、前年対比では14件減少した」

旨の報告があった。

イ 愛知県国民保護共同図上訓練への参加

警備部長から、

「ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、大規模テロ事案発生時の対処要領を確認するとともに、関係機関相互の連携強化を図るため、1月12日（金）午後1時30分から、愛知県自治センター等で行われる愛知県国民保護共同図上訓練に、本県警も参加する」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（12件）

公安委員会執務官から、

1月5日までに受理した公安委員会宛文書等12件
について報告があり、公安委員会は「犯罪捜査等に関する申出」を警察法第
79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁
した。

(2) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、

遺族給付金支給裁定 1件
について説明があり、原案どおり裁定した。

(3) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、

公安委員会宛の「告訴等の取扱いに関する苦情」について、調査結果の報
告及び申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、原案どおり決裁した。

(4) 監察案件

首席監察官から、

監察案件
について報告があった。

委員から、

「組織を挙げて交通死亡抑止に取り組んでいる中であるので、交通事故
に対する職員の意識改革に努めてほしい」
旨の発言があった。

(5) 行政訴訟の発生及び応訴

訟務官から、
運転免許取消処分取消請求事件及び同処分に係る執行停止申立事件の概要並びに今後の応訴方針
について説明があり、決裁した。

(6) 運転免許取消処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許取消処分に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(7) 放置違反金納付命令に対する審査請求

訟務官から、放置違反金納付命令に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(8) 運転免許停止処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許停止処分に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(9) 運転者区分決定に対する審査請求

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(10) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の一部改正(案)

保安課長から、
「旅館業法の一部を改正する法律の公布に伴い、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の規定を整理する」
旨の説明があり、決裁した。

(11) 検視立会医に対する謝金の支出漏れ等に関する調査結果

捜査第一課長から、
検視立会医に対する謝金の支出漏れ等に関する調査結果
について報告があった。

(12) 交通事故発生状況と今後の対策

交通部長から、
交通事故発生状況と今後の対策
について報告があった。

委員から、
「1件でも交通死亡事故を減らすとともに、ワースト返上を至上命題として取り組んでほしい」
旨の発言があり、事故に関する分析と今年の対策について了解を得た。

(13) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 62件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 2件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成30年 1月19日 9時30分～12時15分

出席委員：立花委員長・佐伯委員・入谷委員・後藤委員・柘植委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成30年度春季組織改正等	警務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長
2	平成29年中における 1 1 0 番通報受理件数及び緊急配備等結果	地域部	生活安全部長 地 域 部 長
3	主要事件の検挙	刑事部	刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長
4	平成29年度名古屋港テロ対策合同訓練の実施	警備部	名古屋市警察部長 情報通信部長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	激励の上申（2件）	総務部	公安委員会執務官
2 報告	警察署長会議の開催結果		
3 決裁	苦情の調査結果	警務部	住民サービス課長 訟 務 官
4 決裁	運転者区分決定に対する審査請求（4件）		
5 決裁	犯罪抑止・環境浄化推進地区の指定等に関する公聴会開催結果及び指定	生活安全部	生活安全総務課長 子ども女性安全対策課長
6 報告	ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施		
7 報告	警察職員の援助派遣	警備部	公安第二課長
8 決定	聴聞等の実施結果・決定 85件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

平成30年度春季組織改正等

警務部長から、
平成30年度春季の組織改正等
について報告があった。

委員から、
「県警の最重要課題に対して手当てがされているので、効果的な運用に
努めてほしい」
旨の発言があった。

(2) 地域部

平成29年中における110番通報受理件数及び緊急配備等結果

地域部長から、平成29年中における110番通報受理件数及び緊急配備等
結果について

「平成29年中の110番受理件数は前年より2,702件増加の651,793件で、
一日平均は1,786件の受理であった。緊急配備等の配備件数は1,451件で、
うち371件が検挙につながった」
旨の報告があった。

(3) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、
組織的空き巣事件の検挙概要

組織的な偽装結婚事件の検挙概要
難民認定申請制度を悪用した組織的な不法就労助長等事件の検挙概要
について報告があった。

委員から、
「来日外国人犯罪の検挙が続いているが、よくやってもらった。
引き続きしっかり取締りをお願いしたい」
旨の発言があった。

(4) 警備部

平成29年度名古屋港テロ対策合同訓練の実施

警備部長から、
「1月23日（火）午後1時30分から、名古屋港ガーデンふ頭及び港湾内
において、テロ事案発生時の関係機関相互の対応状況を確認するとともに、
関係機関の連携をより一層強化し、事案対応能力の向上を図るために実施
される合同訓練に、本県警も参加する」
旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 激励の上申（2件）

公安委員会執務官から、
R247プロジェクト
組織的な偽装結婚事件合同捜査班
に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

(2) 警察署長会議の開催結果

公安委員会執務官から、警察署長会議の開催結果について、
「1月16日（火）、警察本部において、警察署長会議が開催され、愛知

県知事、名古屋地方検察庁次席検事、愛知県公安委員会委員長の挨拶に続き、本部長から、最重要課題である

暴力団の壊滅

交通死亡事故の抑止～減少傾向の定着～

犯罪の抑止

等についての訓示があり、その後、各部長等から推進事項に関する指示が行われた」

旨の報告があった。

(3) 苦情の調査結果

住民サービス課長等から、

公安委員会宛の「犯罪捜査に関する苦情」について、調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と説明があり、審議の上、通知文案の再検討を指示した。

(4) 運転者区分決定に対する審査請求（４件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求４件について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、いずれも原案どおり裁決した。

(5) 犯罪抑止・環境浄化推進地区の指定等に関する公聴会開催結果及び指定

生活安全総務課長から、

犯罪抑止・環境浄化推進地区の指定等に関する公聴会開催結果についての報告及び犯罪抑止・環境浄化推進地区の指定等についての説明があり、決裁した。

(6) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施

子ども女性安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に

基づく警告等の実施について、

「平成29年12月中は、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づき、押し掛け等を理由に禁止命令を3件実施した。

また、つきまとい、面会等要求、粗野乱暴な言動、名誉を害する事項の告知等を理由に36件の警告を実施した」
旨の報告があった。

(7) 警察職員の援助派遣

公安第二課長から、

「静岡県公安委員会から、本県公安委員会に対し、警察法第60条第1項の規定に基づく援助要求があり、警察職員を派遣する」
旨の報告があった。

(8) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 85件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成30年1月26日 8時55分～12時40分

出席委員：立花委員長・佐伯委員・入谷委員・後藤委員・柘植委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

	案件	件 名	担当部	出席者
1	報告	2月の行事予定	警務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長
2		平成29年警察運営の基本目標に対する取組結果等		
3		平成30年優秀警察職員表彰式の実施		
4		平成29年中における人身安全対処事案の取扱状況	生活安全部	生活安全部長 地 域 部 長
5		平成29年中における組織窃盗グループ壊滅プロジェクトの取組状況等	刑事部	刑 事 部 長 交 通 部 長
6		主要事件の検挙		
7		歩行者保護対策強化旬間の実施	交通部	警 備 部 長 名古屋市警察部長
8		主要事件の検挙	警備部	情 報 通 信 部 長
9		関係機関との各種合同訓練の実施		

2 個別審議（公安委員執務室）

	案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁	公安委員会宛文書等の受理	総務部	公安委員会執務官
2	決裁	苦情の調査結果	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
3	報告	監察案件		首 席 監 察 官
4	報告	街頭防犯カメラシステムの録画データ活用状況	生活安全部	生活安全総務課長
5	決裁	愛知県暴力団排除条例による勧告	刑事部	組 織 犯 罪 対 策 課 長
6	報告	交通事故統計外の事故（平成29年第4四半期）	交通部	交 通 総 務 課 長
7	決裁	優良指定自動車教習所表彰の実施		運 転 免 許 課 長
8	報告	警察職員の援助派遣	警備部	警 備 課 長
9	決定	聴聞等の実施結果・決定	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

立花委員長が途中退席し、以後は佐伯委員が代行を務め、議事を進行した。

1 全体審議

(1) 警務部

ア 2月の行事予定

警務部長から、
2月の行事予定
について報告があった。

イ 平成29年警察運営の基本目標に対する取組結果等

関係部長から、平成29年警察運営の基本目標であった、
暴力団の壊滅
交通死亡事故の抑止
犯罪の抑止
に対する取組結果及び平成30年の取組方針について報告があった。

委員から、
「全国と比較・検討するなどして、更に効果を上げてほしい」
「課題が増える一方だが、業務の効率化にも努めてほしい」
旨の発言があった。

ウ 平成30年優秀警察職員表彰式の実施

警務部長から、
「2月2日（金）午後2時から、警察本部講堂において平成30年優秀
警察職員表彰式を実施する。

受賞者は、
本部長特別賞 1人

優秀警察職員表彰 224人

である」
旨の報告があった。

(2) 生活安全部

平成29年中における人身安全対処事案の取扱状況

生活安全部長から、
平成29年中における人身安全対処事案の取扱状況
について報告があった。

委員から、
「本当に大変な業務であるが、関係機関に警察の対応を説明するなどし
て、一層の連携に努めてほしい」
旨の発言があった。

(3) 刑事部

ア 平成29年中における組織窃盗グループ壊滅プロジェクトの取組状況等

刑事部長から、
平成29年中における組織窃盗グループ壊滅プロジェクトの取組状況等
について報告があった。

委員から、
「各部門がよく連携しており、成果が上がっているので、今後もしっ
かりと取り組んでほしい」
旨の発言があった。

イ 主要事件の検挙

刑事部長から、

覚せい剤取締法違反被疑者の検挙概要
殺人未遂事件被疑者の検挙概要
について報告があった。

(4) 交通部

歩行者保護対策強化旬間の実施

交通部長から、

「2月1日(木)から10日(土)までの10日間を歩行者保護対策強化旬間と定め、企業等と連携した歩行者保護に資する広報啓発活動を強化する」

旨の報告があった。

(5) 警備部

ア 主要事件の検挙

警備部長から、

政治資金規正法違反事件被疑者の検挙概要
について報告があった。

イ 関係機関との各種合同訓練の実施

警備部長から、

「県内においてテロ等が発生した場合に備え、各種事態対処能力の向上を図るため、1月31日(水)午後1時30分から、中村区において、爆発物によるテロを想定した訓練を名古屋海上保安部、名古屋市消防と合同で、2月2日(金)午前8時から、豊川市において、陸上自衛隊の治安出動を想定した訓練を岐阜県警察、陸上自衛隊と合同で、それぞれ実施する」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理

公安委員会執務官から、
1月22日までに届いた公安委員会宛の文書1件
について報告があり、決裁した。

(2) 苦情の調査結果

住民サービス課長等から、
公安委員会宛の「犯罪捜査に関する苦情」について、調査結果の報告及
び申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、原案どおり決裁した。

(3) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(4) 街頭防犯カメラシステムの録画データ活用状況

生活安全総務課長から、
平成29年4月1日から平成29年12月31日までの街頭防犯カメラシステム
の録画データの活用状況及び主な活用事例
について報告があった。

(5) 愛知県暴力団排除条例による勧告

組織犯罪対策課長から、

「愛知県暴力団排除条例第25条の規定により、勧告を実施する」旨の説明及び勧告書案の提示があり、決裁した。

(6) 交通事故統計外の事故（平成29年第4四半期）

交通総務課長から、
平成29年第4四半期における交通事故統計外の事故について報告があった。

(7) 優良指定自動車教習所表彰の実施

運転免許課長から、
「優良指定自動車教習所表彰規程に基づき、業務が極めて優秀であった指定自動車教習所を表彰することにより、教習の水準の向上と士気の高揚を図り、交通事故の抑止に資するため、優良指定自動車教習所表彰を行う」旨の報告があり、決裁した。

(8) 警察職員の援助派遣

警備課長から、
「福島県公安委員会から、本県公安委員会に対し、警察法第60条第1項の規定に基づく援助要求があり、警察職員を派遣する」旨の報告があった。

(9) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 68件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 2件
について報告があり、行政処分を決定した。